

参加報告

第5回 国際女性会議「WAW!」／W20



1



2

- 日本政府主催の第5回国際女性会議に行ってきました。今年は、主要20か国・地域(G20)に政策提言を行う「Women20(W20)」の合同セッションで開かれたこともあり、会場ホテルニューオータニの大宴会場は満席どころか2重3重の国際色豊かな人垣であふれていました。3月23日 渡辺記
- 史上最年少の17歳で2014年にノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんは基調講演で、貧困や紛争を防ぐための女子教育の重要性を訴え、「我々の指導者は女子教育に投資しなくてはならない」と述べた。また、「過激派は教育の権利を訴えた私を攻撃した。でも失敗した」「私の声は大きくなっている。今、学校に行くことができない1億3千万人の子どもを代表してここにいる」と語り大きな拍手に包まれました。
- マララさんの発言は、若い世代に良い影響を及ぼすだけでなく、政財界・指導的地位の男性たちの耳にも届き、女性たちの窮状救済に役立つ意義は大きいものを感じました。
- ①会場入り口の大きなウエルカムボード。②あちらこちらで人の輪。③基調講演の様子は大画面に映された。④企業・NPO・NGOの女性支援報告。⑤UNWomenはSDGsの広報も。



3



4



5

会員の西川さんと再会！嬉しかった

愛媛県にお住いの当法人正会員の西川さんと7年ぶりにお会いできました。4月8日東京駅で2時間ほどでしたが、話題は尽きず…嬉しかったです。

お住いの大洲市は一昨年集中豪雨にあい、川が氾濫するなど怖い思いをされた当時のこともお聞きしました。お元気でまたお会いしましょう。(渡辺)



▲写真左が西川さん

【最新情報】

ストーカー被害相談2万件！

- 昨年(2018年)、全国の警察に寄せられたストーカー被害者の相談が2万1,556件だった(警察庁調べ)。6年連続で2万件を超えた。
ストーカー被害者は9割近くが女性で、20代が35.8%と最多、次いで30代が24.5%。加害者との関係では配偶者と交際相手(いずれも元含む)が合わせて51.0%で、勤務先の同僚など職場関係が12.9%。
- 一方、DV(ドメスティックバイオレンス)の被害相談は7万7,482件となり過去最多を更新した。
DV被害者は女性が79.4%である。
- 元交際相手らの裸の画像等をインターネット上で公開する「リベンジポルノ」に関する警察への被害相談が昨年1年間に1,347件。過去最多を更新したという(警視庁調べ)。

国際ソロプチミスト東京-西 30周年記念式典

- 3月24日に標記祝う会に参加。国際ソロプチミストは社会的・経済的にエンパワーメントをもたらすプログラムによって女性や女児の生活を向上させる活動を行っている国際的女性奉仕団体。当法人も日頃よりご支援・ご協力いただき感謝。活動紹介には、女性・女児の「教育」「貧困」「性的奴隷」など、マララさんのお話しにも通じる課題が提起されていた。
- 式典の後は市内で活躍する団体の演技・演奏を楽しみ、会場は和やかに。おめでとうございます。



あいさつされた宮崎代表。(中央) 於こもればホール